

中学校給食問題

生徒・保護者のニーズ踏まえ 業者弁当注文方式を2校で試行

議員 本市の学校給食は、小学校全一八校で実施され、中学校全一五校では、牛乳給食が実施されている。しかし、今日の社会・経済状況は大きく変化し、両親共働き家庭の増加などもあり、中学校への給



弁当注文方式を試行している金旭中学校

食導入の要望が保護者から根強くある。そこで本市の中学校給食の考え方を聞きたい。

教育総務部長 弁当を作る

ことが困難な家庭が増加し、給食実施を求める声があることは認識しているが、給食施設の整備と維持には多大な費用が必要となる。また、家庭の手作りの弁当は中学生にとって意義があるものである。このような観点から、金旭・横内中学校でこの二学期から、「業者弁当注文販売方式」を試行的に実施する。これは、民間業者が生徒から弁当の注文を受け、学校が指定する時間および場所に配達し、食後の容器は業者が回収するというものである。

議員 業者の選考方法について聞きたい。

教育総務部長 今回の試

行実施に当たっては、県平塚保健福祉事務所からの紹介および市に登録している三一業者へ説明会の通知を行い、七社の参加があった。さらに企画書の提出に応じた業者は三社であり、内容審査の上、中学校へ業者を紹介した。各学校は業者と詳

細について協議し、試食を経て注文先を決定している。

議員 安全で衛生管理と

栄養バランスのとれた弁当のチェックはどのようなか。

教育総務部長 会社概要等調査表により衛生管理の状況を確認し、業務仕様書の中で業者が衛生管理、温度管理に努めるよう求めている。さらに販売に伴い結ぶ協定書には、献立、栄養価等を事前に学校と教育委員会へ提出すること、また、必要に応じて衛生管理および食

果の報告を義務づけるなど、指摘の内容を担保していくと考えている。

議員 全校導入に向けた

考えを聞きたい。

教育総務部長 二校での試行において生じる課題を整理し、希望する学校から順次実施し、早い時期に全校で実施できるよう進めていきたい。

小学校給食の食材 地産地産利用促進を

議員 本市の小学校の米

飯給食は本年初めから週二回となり、子供たちは大変喜んでいて。また、近年、日本食はバランス

のとれたものとして見直されているが、米飯給食の増加について考えを聞きたい。

議員 本校導入に向けた

考えを聞きたい。

教育総務部長 本市では十五年一月から米飯給食を週二回に増やしたが、県内他市では、平均週一・八回、全国的には週二・八回という状況である。二品目に増やして使用するようになった。さらに、年間を通じて使用を決めた地場産野菜の他にも、毎月開催している物資選考委員会において価格や品質を勘案した上で地場産野菜を選定するよう努めており、今後も使用を進めていきたい。

児童・生徒の健康への影響懸念 シックスクール対策聞く

シックスクール対策聞く

議員 化学物質過敏症と

いう病気の中にはシックスクールという問題があり、その原因として新築・改築時の建材、塗料、接着剤等の化学物質だけでなく、学校環境を取り巻くすべての化学物質が疑われている。現在、小学

校二校および中学校四校

の耐震補強工事が完了もしくは工事中である。工事完了後は「学校環境衛生基準」に基づき、化学物質等の濃度が基準以下であることを確認し引き渡しを受けるが、これらの工事の建材等について、環境衛生上どのような配慮をしているのか。

教育総務部長 内装仕上

げに使用する建材は、JIS(日本工業規格)、JAS(日本農林規格)共通のホルムアルデヒドの発散量が最も少ない材料を使用している。塗料については、製品検査では有機溶剤であるトルエン等の数値が表示できないほど微量のものを使用している。床材の張り替え等に使う接着剤は、ホ

ルムアルデヒドの発散値が、建築基準法で規制されている数値よりも低いものを使用している。

議員 学校環境衛生基準

は十四年二月に改訂され、教室の換気の励行等が加えられたが、換気ほどの程度行われているのか。

教育総務部長 換気の回数については詳細な調査は行っていない。天候にもよるが、春から秋にかけては日常的に窓を開けている。冬は暖房のため教室を閉めることが多くなるが、休み時間等で換気に努めている。

議員 教室内の空気測定

検査の実施および実施する場合、検査内容について聞きたい。

学校教育部長 本年九月

に四三校すべての小中学校を対象に教室内の空気測定を実施する。検査の項目はホルムアルデヒド、

の顔が見え、安全、安心な地場産の農産物をさらに積極的に取り入れてもらいたいと思いが見解は。

教育総務部長 地場産野

菜は、十三年十月から月ごと品目を決めて一品目を使用してきたが、この九月から月によっては二品目に増やして使用することになった。さらに、年間を通じて使用を決めた地場産野菜の他にも、毎月開催している物資選考委員会において価格や品質を勘案した上で地場産野菜を選定するよう努めており、今後も使用を進めていきたい。

教職員への研修は

議員 シックスクールに

ついての教職員への周知研修について聞きたい。

教育総務部長 シックスクールの問題については、養護教員の研究会等で症状の理解と併せて対応について話し合われているが、全体での研修機会の場を設ける段階であり、周知に努めていきたいと考えている。

学童保育の充実 公共用地内に 専用施設確保へ

議員 小学校の児童総数および中学校の生徒総数は減少傾向にある。このような状況下で学校の余

裕教室はどの程度あるのか聞きたい。

教育総務部長 十五年四

月一日現在、全小学校でいわゆる余裕教室は四〇あり、これらは各学校で教材資料室、PTA会議室等として活用されている。中学校でも、同様の教室が二九ある。なお、このような余裕教室のない学校が、小学校で一校、中学校で三校ある。

議員 すでに余裕教室は

他の目的で利用されているとのことだが、一部を学童保育に開放できないか。学童保育については、市長の公約にも掲げられているが、施設の確保等が困難になっている。学童保育の充実について方針を聞きたい。

議員 いつから実施して

いくのか聞きたい。

市民部長 早ければ、今年度中と考えている。



学童保育での子供たちの様子

市議会を傍聴してみませんか

次回定例会のお知らせ



- ・11月27日(木) 定例会本会議(提案説明)
- ・12月8日(月) 定例会本会議(総括質問)
- ・12月12日(金) 総務経済・都市建設常任委員会
- ・12月15日(月) 教育民生・環境厚生常任委員会
- ・12月19日(金) 定例会本会議 最終日

◇湘南ケーブルネットワーク(SCN)で定例会本会議の様子をテレビ放映しています。

※生中継は午前10時(予定)から2チャンネルで、録画放映は当日の午後7時(予定)から9チャンネルでご覧ください。

編集後記



一日と深まりゆく秋の気配を感じる季節となりました。市民の皆様はどのようなお過ごしでしょうか。今年には想像もしていなかった冷夏となり、海辺に訪れる人も少なかつたようですが、九月に入ると一転して暑い日が続き、例年になく異常気象であったように思います。

さて、関東地方での地震発生がささやかれている中、宮城県や北海道などで地震が発生し、多くの方が被害にあわれま

した。災害への備えを万全にするためにも、本市の防災対策を再度検証すべきと痛感しています。本日お届けしました議会だより第一四〇号は、紙面の関係から九月定例会の審議内容を集約した形で掲載しています。今後もご愛読お願いします。

編集委員 渡辺敏光
高橋紀英 府川正明
鈴木晴男
議長 陶山豊彦
副議長 後藤輝彦
☆ 事務担当は、議会事務局議事課調査担当、電話二三三一一一(内線二三六七)です。